

催行決定

道南の秀峰登山とブナの新緑が美しい歴史街道を歩く 渡島駒ヶ岳登山と殿様街道ハイキング2日間

6月1日(木)～2日(金) 旅行代金 お一人様 **69,000円**

JR 札幌駅発着【出発時間】午前 6 時 52 分 JR 北斗 4 号利用

【帰着時間】午後 20 時 35 分 JR 北斗 17 号利用

- ツアーリーダー同行 ● 4 名様より催行 ● 宿泊:ユートピア和楽園 知内温泉旅館
- 2名1室(一人部屋希望の方は6,000円追加料金がかかります。空室が無く手配不可の場合も有ります)

暫定行程表

日	地名	行程	食事
6/1 (木)	札幌駅 森駅 六合目登山口 駒ヶ岳・馬の背 大沼公園駅 五稜郭駅 木古内駅 知内温泉	<p>JR 札幌駅 6:52 発 = JR 北斗 4 号(特急指定席) = 森駅 9:54 着専用車にて六合目広場登山口へ (不要な荷物は車に預けます) 六合目広場 10:30 頃・・・渡島駒ヶ岳・馬の背・・・ 六合目広場 13:30 頃 ●歩程:約 2～3 時間 下山後、専用車にて JR 大沼公園駅へ。 JR 大沼公園駅 14:44 発 = <JR> = 五稜郭駅 15:18 着 / 15:21 発 = <道南いさりび鉄道> = 木古内駅 16:19 着 木古内駅 = 湯の里入口 送迎車で知内温泉へ。北海道最古の温泉と言われる古湯で ゆったりお寛ぎ下さい。【ユートピア和楽園・知内温泉旅館・泊】 ※大沼公園駅または木古内駅前にて、乗車の待ち時間を利用して翌日の昼食・行動食など のお買い物時間をお取りします。</p>	 <p>見る方向によって山容が変わる駒ヶ岳</p> <p>— — 夕</p>
6/2 (金)	知内温泉 殿様街道 木古内駅 五稜郭駅 札幌駅	<p>7:00 朝食、8:00 旅館出発(不要な荷物は宿に預けます) = <専用車> = 国道分岐 8:15～8:30 頃スタート・・・殿様街道入口 9:00 頃・・・殿様 街道ハイキング(ブナの巨樹や廃線の鉄橋、砲台跡など自然と史跡に触れる 7km の 周回コース。林床を彩る初夏の山野草にも出会えるでしょう。高低差はさほどあり ません)・・・国道分岐 14:00 頃、ハイキング終了。●歩程:約 4 時間 30 分 専用車にて旅館の荷物をピックアップし、木古内駅へ。 木古内駅 15:19 発 = <道南いさりび鉄道> = 五稜郭駅 16:16 着 / 16:45 発 = JR 北斗 17 号(特急指定席) = 札幌駅 20:35 着</p>	<p>朝 — —</p>

※交通 / = 鉄道・バス・専用車での移動 ... 徒歩にて登山・ハイキング

※記載の時間は予定です。道路状況、歩くペース、天候などにより前後しますのであらかじめご了承ください。

※2日間とも昼食は各自となります。登山中、ハイキング中に手軽に摂れるものをご用意し、携行して下さい。

1日目に駅にてお買い物時間をお取りします。お湯、お水、行動水は宿にて用意できます。

※基本、小雨でも実施しますが、登山やハイキングが危ぶまれるほどの悪天候の場合は観光や散策などに行程を変えさせていただきます。その際に生じるイレギュラーの交通費につきましてはご参加者にご負担いただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

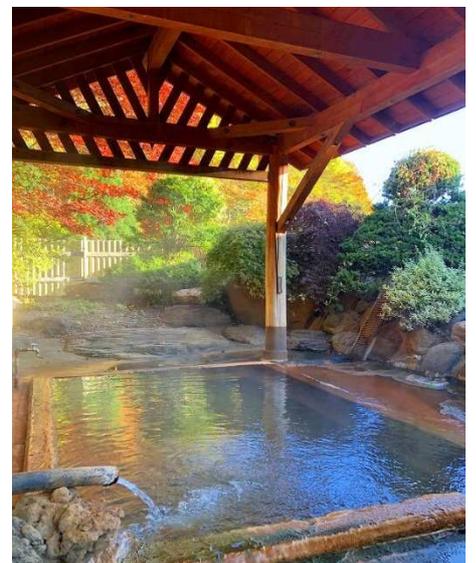
※2日目、下山後の温泉入浴は時間的に難しいので割愛させていただきました。ご了承ください。



国鉄松前線跡の茶屋橋鉄橋を歩きます



樹齢約 200 年のブナの巨木



知内温泉の露天風呂

※注)写真は殿様街道の秋の様子です

渡島駒ヶ岳登山と殿様街道ハイキング 持ち物リスト

	品名	数量	チェック	備考
1	登山または 軽ハイキング用の靴	1組	○	防水性の良いゴアテックスや皮革製の軽ハイク靴など。出ればハイカットの靴で、履き慣れたものを。移動用と兼用でも可。
2	タウンシューズ	1組	△	移動時に履く運動靴やスニーカーなど。
3	旅行かばん（小～中）	1個	○	行動中、車に預ける荷物入れ用。バッグやスーツケースでも良い。
4	ハイキング用ザック	1個	○	ハイキング時に背負うザック。目安は容量 20～35ℓの日帰り用。
5	雨具（上下）	1着	○	出来るだけしっかりとしたゴアテックス製の上下セパレート型が良い。ウインドブレーカー代用可。防寒着としても活用します。
6	薄手ダウン ジャケット（防寒着）	1着	○	6月初めの道南は初夏の陽気ですが、朝夕と冷え込む日もあります。また雨、風が強いと肌寒いので、薄手のダウンやフリースジャケットなどの防寒着をご用意ください。雨具を兼用しても結構です。
7	衣類（着替え）	適数	○	長袖シャツ、スラックス、下着、靴下、着替えなど。
8	帽子（日除け用）	1個	○	好天時、強い日差しを遮るため、つばのある帽子が良いでしょう。耳たぶや首元の日焼けにもご用心下さい。
9	手袋（薄手・厚手）	2個	○	薄手と気温が低めの時のために少し厚手もあると良いでしょう。
10	サングラス	1個	△	好天時、強い紫外線から、目を保護する為に有ると良いでしょう。
11	水筒（テルモス）	1個	○	容量 1～2ℓ程度。ペットボトルでも可。 温かい飲み物を持ちたい方はテルモス（魔法瓶）も重宝します。
12	虫除け	適量	○	そろそろ森の中では蚊やダニが発生する季節です。ハッカ油スプレー等が有効です。
13	洗面用具	適数	○	浴衣、タオル、バスタオル、歯ブラシ、シャンプー類は宿泊施設に部屋のアメニティとして付いています。
14	筆記用具	適数	○	メモ帳やボールペンなど。
15	お財布 クレジットカード	適数	○	クレジットカードは便利です。保管に気をつけましょう。
16	携帯電話	1個	○	お持ちの方は緊急の連絡用に携行して下さい。
17	ショート・スパッツ	1組	△	雨天時にぬかるみ対策用としてあると便利でしょう。
18	折り畳み傘	1本	△	林道歩きなど、差し支えの無い道では、小雨の時にさしていただいてもかまいません。登山に持参するかは各自でご判断下さい。
19	日焼け止め	適数	△	強い紫外線と乾燥から肌を守るために。リップクリームも。
20	ストック(杖)	1組	△	普段、山歩きに使用している方はお持ち下さい。伸縮式が収納出来て便利です。
21	医薬品・マスク	適数	△	持病用の特別な薬などがあれば各自でご用意下さい。マスクは予備も含めて多めにご用意下さい。
22	ザックカバー	1枚	△	ザックの防水用レインカバー。歩行中の急な降雨に備えて。
23	カメラ・ビデオ	適数	△	予備電池、充電装置も忘れずに。
23	嗜好品・おやつ類	適数	△	初日、乗り換え時の駅などで購入可能です。途中のスーパー、コンビニに立ち寄る時間はありません。普段愛用している行動食などあれば事前にご用意下さい。

○=必要なもの △=あると便利なもの ※あくまでご参考にして下さい。